

SS部物理班



物理班員は「自然対数の底はe」の掛け声に合わせてポーズをとった。

研究にのめりこんで



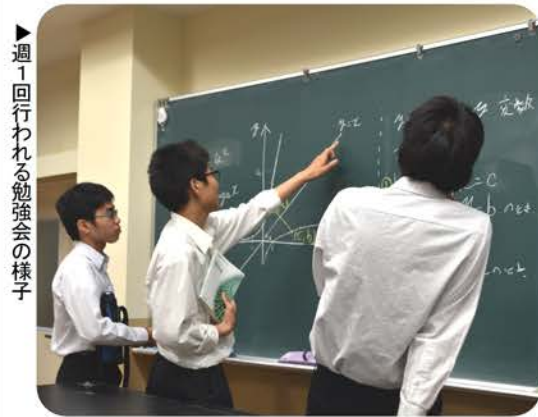
速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



週1回行われる勉強会の様子

今回の文化部キマグレでは、SS部物理班を紹介する。取材は代替わりの前に行いました。

SS部物理班は部員数は3年生3人、2年生12人、1年生9人の計24人だ。現在は4つの班に分かれ、日本学生化学賞やJSEC、日本物理学会ジュニアセッションなどの大会に向けてそれぞれ研究に励んでいる。また週1回の活動のほかに週1回物理の勉強

会を行っている。

元部長の呉方丹君(3-1)

は班の雰囲気について「全ての部活動のなかで最もアットホームな雰囲気の部活だと思う。最低限の礼儀は徹底しているが、それ以外の面では同学年の友人同士のように仲良くしている」と説明した。また物理班は先生主体ではなく部員が主体となって活動を行っているという。このことについて呉君は「物理班は何をするにも主体性が求められる部活だ。高校生というミスが許されるうちにミスをして経験を増やしていくことで、将来リーダーシップをもって主体的に活動することができると話した。

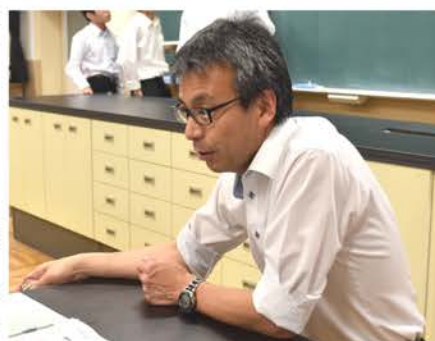
顧問の濱川徳行先生は「身近なテーマで高校生らしい研究をできるよう指導している。

名物部員

呉方丹君

SS部物理班の名物部員は元班長の呉君(トップ写真中央)だ。呉君は物理班の班長だけでなくSS部全体の部長も務めていた。また呉君は日本語のほかに英語や中国語も話ことができ、さらにヴァイオリンの演奏もできるそうだ。物理班員からは「後輩に優しくしてくれ、後輩の多くから慕われている」「名物部員というよりすごい人というイメージ」という声があがった。物理班内で多数決を取ったところ、ほぼ満場一致で呉君が名物部員ということになったという。呉君は「初対面の人相手でもぐいぐい話に行けるところが印象に残っているのだと思う」と分析した。

部について説明される濱川先生



深みがあり高い水準の研究をできるよう指導している」と明かされた。また濱川先生は生徒に向けて「研究にのめりこんでやれ。そうすれば必ず研究が楽しくなり、もっと研究したくなる。物理班でしている活動は研究の本質であり、それは必ず今後につながるだろう」とメッセージを送られた。